

千葉日報社杯新人大会における「投球制限」について（試行）

◎投球確認シート <様式A> <様式B>の運用方法について

- ・試合当日両チームより、事務局長又は事務局長任命の方1名を投球数カウント選任者としてお手伝いをお願い致します。
- \*その際自チーム分の投球確認シート<様式B>と無地の<様式A>を持参願います。
  
- ・選任者は相手チーム選任者と2人でカウントし相互確認のもとイニング投球数を確定し、アナウンスに連絡と投球確認シート<様式A>に記入する。
  
- ・アナウンスは選任者からの連絡を受け「ただ今回の○○チーム△△投手の投球数は××です」と放送する。
  
- ・両チームベンチはアナウンスの球数を確認願います。
  
- ・試合終了後、選任者は投球数確認シート<様式B>を記入し<様式A>と合せて、グラウンド責任者・責任審判・監督に確認のサインをもらい、<様式B>は監督に返却し、<様式A>は責任審判が保管願います。

# 投 球 数 確 認 シ ー ト

大会名 : 2021年 千葉日報社杯新人大会

チーム名 : \_\_\_\_\_

試合日 : \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 (第 \_\_\_\_\_試合)

球場名 : \_\_\_\_\_

< 記 入 例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1	関東 一郎	42 球	正正正 15 / 15	正正正 17 / 32	正正 10 / 42	/	/	/	/	/	/	/	42 球

【 記 入 欄 】													
背番号	投 手 名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

球場責任理事(役員) 確認サイン	球場責任審判員 確認サイン	監督 確認サイン
------------------	---------------	----------

**【投球数制限】**

- ① 1日最大90球以内とし、連続する2日間で130球以内とする。連続する2日間で90球を超えた場合、3日目は投球を禁止する。
- ② 3連投(連続する3日間で3試合)する場合は、初日・二日目の1日の投球数を45球以内、三日目の1日の投球数を40球以内とする。  
4連投(連続する4日間で4試合)は禁止する。
- ③ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球投球が可能。
- ④ 上記①～③を基本原則とするが、打席の途中で制限数がきた場合は、当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数

にカウントする。

- ⑤ 連続する2日間で90球を超える投球をした投手、ならびに3連投した投手は、登板最終日、ならびに翌日は捕手としても出場できない。
- ⑥ ボークの投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。

**【本シートの運用方法】**

- ① 試合終了後、本シート(原本)に投球数を球場責任審判が記入・サイン後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受けて、責任審判が保管する。
- ② 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B>

※試合毎の投球数は様式 Aより転記する

# 投 球 数 確 認 シ ー ト

大会名 : 2021年 千葉日報社杯新人大会

チーム名 :

日本リトルシニア関東連盟東関東支部

		投 球 数							
球 場 名									
背番号	投 手 名	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	準々決勝	準決勝
1		球	球	球	球	球	球	球	球
2		球	球	球	球	球	球	球	球
3		球	球	球	球	球	球	球	球
4		球	球	球	球	球	球	球	球
5		球	球	球	球	球	球	球	球
6		球	球	球	球	球	球	球	球
7		球	球	球	球	球	球	球	球
8		球	球	球	球	球	球	球	球
9		球	球	球	球	球	球	球	球
球場責任理事(役員) 確認サイン									
球場責任審判員 確認サイン									
監督 確認サイン									

## 【投球数制限】

- ① 1日最大90球以内とし、連続する2日間で130球以内とする。連続する2日間で90球を超えた場合、3日目は投球を禁止する。
- ② 3連投(連続する3日間で3試合)する場合は、初日・二日目の1日の投球数を45球以内、三日目の1日の投球数を40球以内とする。
- ③ 4連投(連続する4日間で4試合)は禁止する。
- ④ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球投球が可。
- ⑤ 上記①～③を基本原則とするが、打席の途中で制限数がきた場合は、当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントする。
- ⑥ 連続する2日間で90球を超える投球をした投手、ならびに3連投した投

手は、登板最終日、ならびに翌日は捕手としても出場できない。

- ⑥ ボークの投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。

## 【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、本シート(原本)に投球数を球場責任審判が記入・サイン後、球場責任理事(役員)及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。  
注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。